



## 向山社長メッセージ

# 努力を飛躍に！！

Team Accessの皆さま、新年あけましておめでとうございます。新たな気持ちで2024年をお迎えのことと  
思います。本年が、皆さまとご家族にとって、幸せで  
実りの多い1年となりますよう、心からお祈り申し上げ  
ます。

この1年間でコロナ禍の影響はかなり減少し、旅行  
需要の回復やオフィスに出勤する勤務へのシフトが  
進んだこともあって、駅やビルにはお客さまのご利用  
が戻り、皆さまの働く環境も大きく変化したのではな  
いでしょうか。そうした中であって、より清潔さへの  
意識が高まったお客さまのニーズを捉えつつ、さまざ  
まな工夫をしながら業務改善に取り組んでいただい  
たことに感謝申し上げます。

昨年は、清掃CBMや資源循環の高度化で、当社の将  
来に向けた業務革新を着実に進めることができた1年  
でした。多くの現場で、新しい資機材やケミカルなど  
の最新技術による課題解決を進めてもらい、そのいく  
つかは仕様の標準化や作業手順の見直しにまでつな  
がりました。現場には多くの課題がありますが、解決  
の過程で大事なことは既往の事例の勉強です。過去  
における同じような取り組みではどうだったのか、ど  
のような条件でうまくいったのか、どのような条件で  
うまくいかなかったのかなど、よく調べて活用するこ  
とが着実なレベルアップの近道です。医者が症例を  
よく勉強して治療に活かすのと同じです。今後も、  
CBM掲示板や「レビュー＆コーチング」を上手に活用  
するとともに、過去の取り組みを活かしながら目の前

の課題解決に取り組んでいってほしいと思います。

最先端の資機材のうちでも、清掃ロボットについて  
はすべての現場で使いこなせるようにしたいと考  
えています。今や、清掃ロボットは試行する段階から、  
当たり前のように複数のロボットを使いこなす段階  
に入っています。今後は多数のロボットの群管理を  
進めるとともに、ホームドア清掃ロボットや小便器清  
掃ロボット、臭気センサーといった機器の開発も進  
め、早期の実用配備をめざします。

世の中の技術の進展やデジタル化の歩みはとて  
速く大きく進化していますので、状況把握を怠ると方  
向違いで取り残されるリスクがあります。そのよう  
なリスクを回避するために、決めたことだけをやみく  
もに進めるだけではなく、実態把握 (Observe) →選  
択肢検討 (Orient) →意思決定 (Decide) →改善実施  
(Act) 【OODA(ウーダ)ループ】を繰り返して軌道修正  
し、最適なスマート化を進めてまいります。

今年、(株)JR東日本環境アクセスの社長として迎え  
る4回目の正月になります。今までの3年半、皆さまと  
ともに積み重ねてきた努力を大きな飛躍につなげる  
年にしたいと思います。当社は約3,200人という多く  
の社員の皆さまに支えられています。多様なバック  
グラウンドをもつ皆さまが業務革新の原動力です。  
**1人の100歩より、100人の1歩！！**を合言葉に、これ  
からも“恐れず、ひるまず、とらわれず”に現場と本社  
が一体となって、みんなでアクセスの将来をつくる取  
組みにチャレンジし続けましょう。